

校訓	真善美	平成28年度学校だより	発行日	平成28年7月20日
教育目標	自主、自立、感謝の精神を抱き、 未来を拓く生徒の育成 —豊かな心、確かな学力、健やかな体を育てる—	「荒中だより」 第16号	発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 難波 重之

一学期終業式にあたって

4月7日に1学期が始まり、今日が105日目です。この105日間で、皆さんはどのように成長したでしょうか？

1年生の皆さんには、私は入学式で、「自分の^{こころざし}志をいつも胸に抱き、何事にも手を抜かず、正々堂々と前を向いて努力して行って欲しい」と言いました。皆さんは高い志を持ち、コツコツと努力を続けているのでしょうか？4月頃はまだまだ小学生と変わらぬ状態でしたが、林間学舎や部活動などを通して、少しずつ自ら考え、行動できるようになりました。今後は「自治」をもっと意識すると、さらに成長できると思います。

2、3年生の皆さんには、始業式で、「学校を休まない」、「さきにあいさつする」、「失敗を恐れず挑戦し、失敗が成功になるまで粘り強く取り組んで欲しい」と言いました。

「学校を休まない」ことについては、昨年度より大幅に欠席日数が減っている人がいます。学年が上がったことを一つの機会ととらえ、努力を続けているあらわれであり素晴らしいことだと思います。

次に、「さきにあいさつする」ことについて話します。私は8時前から毎朝校門に立っています。「早い時間に登校する人の方が、ぎりぎりの時間に飛び込んで来る人より、自分からあいさつできる人が多い」ということを感じています。

やはり、一日のスタートを余裕を持って行動できることは大事なことです。

2年生は「トライやる」で、あいさつの大切さを



再認識したと思います。これからも今までよりさらにあいさつを大切に
し、誰に対しても自らあいさつできる荒中生に成長してもらいたいと思
います。

「**失敗を恐れず、粘り強く挑戦し続ける**」ことについては、私はこれ
までに努力することの大切さを色々な機会に話してきました。皆さんの
中には、地道に努力を続け、学習面や部活動などで目覚しい成果を上げ
ている人もいます。しかし、私が残念に思っていることは、努力しても
無駄だと思い込んでいる人がいることです。確かに、努力した人すべて
が報われるとは限りません。すぐに結果に結びつくとも限りません。し
かし、**努力せずに報われることはありません**。成果を上げている人には、
必ずそれなりの努力の跡が見られます。

「**天は自らを助くる者を助く**」と言います。この言葉は、「**人に頼らず
自分自身で努力する者には、天が助け、幸福をもたらす。怠惰^{たいだ}な者には
決して幸福は訪れない**」という意味で、明治維新後、若者たちの間で広
く親しまれ、現在の日本の基礎をつくる上で大きな影響を与えた言葉だ
とされています。最初からあきらめて何もしないよりも、努力した方
が必ず成果があがるのです。

さて、明日から39日間の長い夏休みが始まります。まず、時間を大
切に使ってください。時間は使い方次第で、長くも短くもなります。ま
た、意義あるものにも無駄なものにもなってしまいます。

この英単語『**succeed**』は、「成功する」という意味があります。そ
して、「成功する」以外に「**続ける**」という意味もあります。そうです！

続けることこそ成功^{ひけつ}の秘訣なのです。「朝は、授業がある時と同じように



6時半に起きる」とか「午前9時から毎日
2時間勉強する」など時間を有効に使うこと
によって、このような簡単な平凡なことを、

ほんじてってい
『**凡事徹底**』して続けてください。

平凡の積み重ねが非凡を招き、それはいつかあなたの習慣、そして生き方になっていきます。他人と過去は変えることができませんが、自分と未来は変えることができます。平凡の積み重ねを大事にし、あなたの未来を変えてください。

最後に、**自分の命を大切に**してください。熱中症や交通事故、また火や水に係る事故には十分に気をつけて欲しいと願っています。命が何よりも大切です。2学期の始業式には、皆さんが一段と^{たくま}しく成長し、この体育館に元気な顔で集まってくれることを願い、一学期終業式にあたっての式辞といたします。



自信と誇りを持てる学校を創ろう!!